

無機有機ハイブリッドEPO[水性タイプ]  
標準施工仕様

工程	材料	調合 (重量)	所要量	塗布面積	施工用具	塗回数	間隔時間 (23℃)	可使時間 (23℃)	
1.素地調整	≪屋根≫①素地に付着しているゴミ・ホコリ・カビ・藻等は、高圧洗浄等で丁寧に取り除いて下さい。洗浄は高圧洗浄が出来ない場合、水を流しながらデッキブラシ・ワイヤーブラシ・タワシ等を用いて取り除いて下さい。洗浄後は十分に乾燥して下さい。スレート波板の溝の部分・重ね箇所・フックボルト周辺等は入念に清掃して下さい。旧塗膜が劣化して、浮き・割れ・膨れ等がある場合はきちんと除去して下さい。②寒冷地区における屋根材は、塗膜の膨れ・剥がれ等の劣化が著しく、下地が脆くなっています。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離の原因となったり、光沢が出ない等の仕上がりが不良になりますので、入念に行う必要があります。③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。④雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。≪外壁≫①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いて下さい。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理して下さい。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥吹付面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。								
2.下塗り	無機有機ハイブリッドEPO [水性タイプ]	主剤 硬化剤	14kg 1kg	0.10~0.16 (kg/m <sup>2</sup> /回)	93~150 (m <sup>2</sup> /セット/回)	刷毛 中毛ローラー エアレス	1~2回	上塗り水性 4時間以上 7日以内  上塗り弱溶剤 16時間以上 7日以内	5時間以内
3.上塗り	清水		0~10%						
・上塗りにプレマテックス製品を施工する場合は、各標準施工仕様をご確認の上、施工して下さい。 ・上塗りに他社製品を施工する場合は、各メーカーの標準施工仕様に従って施工して下さい。※注：弊社までご相談下さい。									

●無機有機ハイブリッドEPO [水性タイプ]

(2液水性反応硬化形超付着シーラー)

■荷姿

15kgセット 主剤：14kg  
硬化剤：1kg

■色

・透明 ・ホワイト

■適用基材

- ・窯業系サイディング ・無機系、光触媒サイディング ・金属サイディング ・押出成形セメント板 ・モルタル ・コンクリート ・PC板 ・ALC
- ・住宅用化粧スレート ・波型スレート ・セメント瓦 ・乾式洋瓦 ・釉薬瓦 ・アスファルトシングル ・FRP樹脂 ・硬質塩ビ ・木部 ・旧塗膜
- ・アルミニウム ・ステンレス等

!  
 注  
 意  
 事  
 項

- ・無機有機ハイブリッドEPO[水性タイプ]は、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・無機有機ハイブリッドEPO[水性タイプ]は水性塗料のため初期攪拌では硬化剤がなじみにくいため、調合する際は必ず電動攪拌機を使い十分に攪拌して下さい。また、調合後は30分程度静置させて下さい。攪拌、静置が不十分だとハジキや付着不良の原因となります場合があります。
- ・乾式洋瓦はデッキブラシ等を併用しながら高圧洗浄し、着色スラリー層が除去できていることを確認した上で無機有機ハイブリッドEPO[水性タイプ]を2回塗りして下さい。
- ・アスファルトシングルに塗装する場合は、水性上塗り材をご使用下さい。
- ・無機有機ハイブリッドEPO[水性タイプ]を塗布後は十分に間隔時間を厳守して下さい。
- ・下地の表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合は、無機有機ハイブリッドEPO[水性タイプ]の塗り回数を増やし固着して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にししっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚す原因になる事があります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がりが不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行って下さい。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行って下さい。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。

工程	材料	調合 (重量)	所要量	塗布面積	施工用具	塗回数	間隔時間 (23℃)	可使時間 (23℃)
1.素地調整	≪屋根≫①素地に付着しているゴミ・ホコリ・カビ・藻等は、高圧洗浄等で丁寧に除去して下さい。洗浄は高圧洗浄が出来ない場合、水を流しながらデッキブラシ・ワイヤーブラシ・タワシ等を用いて除去して下さい。洗浄後は十分に乾燥して下さい。スレート波板の溝の部分・重ね箇所・フックボルト周辺等は入念に清掃して下さい。旧塗膜が劣化して、浮き・割れ・膨れ等がある場合はきちんと除去して下さい。②寒冷地区における屋根材は、塗膜の膨れ・剥がれ等の劣化が著しく、下地が脆くなっています。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離の原因となったり、光沢が出ない等の仕上がりが不良になりますので、入念に行う必要があります。③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。④雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。≪外壁≫①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で除去して下さい。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理して下さい。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥吹付面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。							
2.下塗り	無機有機ハイブリッドEPO 主剤 [油性タイプ] 硬化剤 無希釈	13.5kg 1.5kg	0.10~0.16 (kg/m <sup>2</sup> /回)	93~150 (m <sup>2</sup> /セット/回)	刷毛 中毛ローラー エアレス	1~2回	6時間以上 7日以内	6時間以内
3.上塗り	・上塗りにプレマテックス製品を施工する場合は、各標準施工仕様をご確認の上、施工して下さい。 ・上塗りに他社製品を施工する場合は、各メーカーの標準施工仕様に従って施工して下さい。※注：弊社までご相談下さい。							

## ●無機有機ハイブリッドEPO [油性タイプ]

(2液弱溶剤形エポキシ超付着シーラー)

### ■荷姿

15kgセット 主剤：13.5kg  
硬化剤：1.5kg

### ■色

・透明 ・ホワイト

### ■適用基材

- ・窯業系サイディング ・無機系、光触媒サイディング ・金属サイディング ・押出成形セメント板 ・モルタル ・コンクリート ・PC板 ・ALC
- ・住宅用化粧スレート ・波型スレート ・セメント瓦 ・乾式洋瓦 ・釉薬瓦 ・カラー鋼板 ・フッ素鋼板 ・ガルバリウム鋼板 ・塩ビ鋼板
- ・FRP樹脂 ・硬質塩ビ ・木部 ・鉄部 ・電気垂鉛メッキ ・アルミニウム ・ステンレス 等



## 注意事項

- ・無機有機ハイブリッドEPOは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・無機有機ハイブリッドEPOを調合する際は、必ず電動攪拌機を使い十分に攪拌して下さい。攪拌が不十分な場合、上塗りが撥き肉割れを起こします。
- ・乾式洋瓦はデッキブラシ等を併用しながら高圧洗浄し、着色スラリー層が除去できていることを確認した上で無機有機ハイブリッドEPOを2回塗りして下さい。
- ・無機有機ハイブリッドEPOを塗布後は十分に乾燥させてから、次の工程に入して下さい。
- ・下地の表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合は、無機有機ハイブリッドEPOの塗り回数を増やし固着して下さい。
- ・無機有機ハイブリッドEPOは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事が有ります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がりが不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行って下さい。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行って下さい。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。

工程	材料	調合(重量)	所要量	塗布面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)	可使時間(23℃)
1.素地調整	①電動工具・手動工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部は2種ケレン(SSPC SP3、ISO St3)程度まで除錆して下さい。旧塗膜は全面表面あらし後、清掃ケレンを行って下さい。②チョーキング・ゴミ等付着物・汚れ・劣化塗膜がある場合は、密着力低下の原因となりますので、入念に除去し、油分は溶剤にて拭き取って下さい。③亜鉛メッキ鋼板(亜鉛鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板)に塗装する場合、6ヵ月以上放置し表面光沢を消失されるか、或はリン酸処理等を施してから塗装して下さい。④塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。⑤雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。							
2.下塗り	防錆プライマーpro 清水	16kg 0~10%	0.12~0.18 (kg/m <sup>2</sup> /回)	88~133 (m <sup>2</sup> /セット/回)	刷毛 中毛ローラー エアレス	1回	4時間以上	-
3.上塗り	・上塗りにプレマテックス製品を施工する場合は、各標準施工仕様をご確認の上、施工して下さい。 ・上塗りに他社製品を施工する場合は、各メーカーの標準施工仕様に従って施工して下さい。※注:弊社までご相談下さい。							

## ●防錆プライマーpro

(1液水性反応硬化形防錆プライマー)

### ■荷姿

16kg/缶

### ■色

グレー  
アカサビ

### ■適用基材

・鉄部 ・ステンレス ・アルミニウム ・亜鉛メッキ鋼板 ・旧塗膜 ・焼付鋼板



## 注意事項

- ・さびが残った面へ塗装した場合、点さびが浮き出る可能性がありますので、さびの除去は入念に行ってください。
- ・防錆プライマーproの塗布量が少ない場合、防錆機能が低下しますので、必ず所定の所要量を守って施工して下さい。
- ・乾燥が早いので、施工中も施工用具は液中に漬けて置くなど乾燥に注意して下さい。
- ・油分などの付着物は完全に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事が有ります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度75%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合・被塗物温度が50℃以上の場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

フィルメイク  
標準施工仕様

工程	材料	調合(重量)	施工用具	所要量	塗布面積	塗回数	間隔時間(23℃)	可使時間(23℃)
1.素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いて下さい。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理して下さい。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥吹付面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。							
2.下地調整	フィルメイク	16kg	中毛ローラー 刷毛	0.3~0.6 (kg/m <sup>2</sup> /回)	26~53 (m <sup>2</sup> /缶/回)	1回	6時間以上	-
			多孔質ローラー	0.8~1.0 (kg/m <sup>2</sup> /回)	16~20 (m <sup>2</sup> /缶/回)			
	清水	2~8%	リシガン (口径4~6mm)	0.8~1.2 (kg/m <sup>2</sup> /回)	13~20 (m <sup>2</sup> /缶/回)			
3.上塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>上塗りにプレマテックス製品を施工する場合は、各標準施工仕様をご確認の上、施工して下さい。</li> <li>上塗りに他社製品を施工する場合は、各メーカーの標準施工仕様に従って施工して下さい。※注:弊社までご相談下さい。</li> </ul>							

### ●フィルメイク

(水性1液形微弾性フィラー)

#### ■荷姿

16kg/缶

#### ■適用基材

- ・コンクリート・モルタル・PC板・GRC板・ケイカル板・一般外壁
- ・吹付タイル・スタッコ・リシン・等

(注:旧塗膜が健全な状態のものにのみ塗装可)



## 注意事項

- ・セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。
- ・シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。

クオリティマルチサーフ  
標準施工仕様

工程	材料	調合 (重量)	所要量	塗布面積	施工用具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使時間 (23°C)
1.素地調整	①素地に付着しているコケ・ゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いて下さい。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理して下さい。④雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑤吹付面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。							
2.下塗り	クオリティマルチサーフ 無希釈	15kg	屋根 0.3~0.8 (kg/m <sup>2</sup> /回) 外壁 0.2~0.5 (kg/m <sup>2</sup> /回)	18~50 (m <sup>2</sup> /缶/回) 30~75 (m <sup>2</sup> /缶/回)	刷毛 中毛ローラー エアレス	1回	24時間以上	-
3.上塗り	・上塗りにプレマテックス製品を施工する場合は、各標準施工仕様をご確認の上、施工して下さい。 ・上塗りに他社製品を施工する場合は、各メーカーの標準施工仕様に従って施工して下さい。※注：弊社までご相談下さい。							

## ●クオリティマルチサーフ

(屋根・外壁用 1液水性形特殊シリコン樹脂サーフェーサー)

### ■荷姿

15kg缶

### ■適用基材

サイディングボード・コンクリート・モルタル・一般外壁・スレート瓦・セメント瓦・アスファルトシングル(水性上塗材限定)  
※モニエル瓦、スカンジア瓦、陶器瓦には別途適用下塗材を塗布してからクオリティマルチサーフを施工して下さい。

### ■施工用具

刷毛、エアレス  
ウールローラー(中毛以上)  
※エアレスで施工する際はガンのフィルターとサクションフィルターを取り外して下さい。

### ■適用上塗材

水性系塗料、弱溶剤系塗料



## 注意事項

- ・クオリティマルチサーフは無希釈でご使用下さい。
- ・クオリティマルチサーフの施工後、上塗材は必ず翌日以降に塗装して下さい。
- ・エアレス等で一度に厚付けすると乾燥過程でひび割れの恐れがあります。
- ・シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚しトラブルの原因になる事が有ります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5°C以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行って下さい。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行って下さい。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。

工程	材料	調合 (重量)	所要量	塗布面積	施工用具	塗回数	間隔時間 (23℃)	可使時間 (23℃)	
1.素地調整	①電動工具・手動工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部は2種ケレン(SSPC-SP3、ISO St3)程度まで除錆して下さい。旧塗膜は全面表面あらし後、清掃ケレンを行って下さい。②チョーキング・ゴミ等付着物・汚れ・劣化塗膜がある場合は、密着力低下の原因となりますので、入念に除去し、油分は溶剤にて拭き取って下さい。③亜鉛メッキ鋼板(亜鉛鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板)に塗装する場合、6ヵ月以上放置し表面光沢を消失されているか、或いはリン酸処理等を施してから塗装して下さい。④塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。⑤雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。								
3.中塗り	メタルガードエポ2 PXシンナー	主剤 硬化剤 4~10%	14.4kg 1.6kg	0.15~0.18 (kg/m <sup>2</sup> /回)	88~106 (m <sup>2</sup> /セット/回)	刷毛 中毛ローラー エアレス	1回	16時間以上 7日以内	5時間以内
4.上塗り	上塗りにプレマテックス製品を施工する場合は、各標準施工仕様をご確認の上、施工して下さい。 上塗りに他社製品を施工する場合は、各メーカーの標準施工仕様に従って施工して下さい。※注:弊社までご相談下さい。								

## ●メタルガードエポ2

(2液弱溶剤形エポキシ樹脂サビ止めプライマー)

### ■荷姿

16kgセット 主 剤: 14.4kg  
硬化剤: 1.6kg

### ■色

・ホワイト  
・ブラック

### ■適用基材

鉄、ステンレス、亜鉛メッキ鋼板、アルミ(A1050P)  
FRP板、旧塗膜、焼付鋼板、他



## 注 意 事 項

- ・メタルガードエポ2は、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・メタルガードエポ2を塗布後は十分に乾燥させてから、次の工程に入して下さい。
- ・メタルガードエポ2は、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事があります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地の乾燥を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬季は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を遵守し、産業廃棄物とし処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行って下さい。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行って下さい。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。

マルチ浸透シール  
標準施工仕様

工程	材料	調合(重量)	所要量	塗布面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23°C)	可使時間(23°C)
1.素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いて下さい。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理して下さい。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥吹付面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。							
2.下塗り	マルチ浸透シール 無希釈	15kg	0.1~0.2 (kg/m <sup>2</sup> /回)	75~150 (m <sup>2</sup> /缶/回)	刷毛 中毛ローラー エアレススプレー	1回	4時間以上	-
3.上塗り	・上塗りにプレマテックス製品を施工する場合は、各標準施工仕様をご確認の上、施工して下さい。 ・上塗りに他社製品を施工する場合は、各メーカーの標準施工仕様に従って施工して下さい。※注:弊社までご相談下さい。							

## ●マルチ浸透シール

(1液水性浸透形カチオンプライマー)

### ■荷姿

15kg缶

### ■色

透明  
ホワイト

### ■適用基材

コンクリート・モルタル・GRC板・ケイカル板・一般外壁・サイディングボード  
吹付タイル・スタッコ・リシン・等



## 注意事項

- ・マルチ浸透シールはカチオン系塗料ですので、希釈できないうえ、他種塗料との混合も出来ません。
- ・マルチ浸透シールを塗布後は十分に乾燥させてから、次の工程に入して下さい。
- ・セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。
- ・シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事が有ります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5°C以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行って下さい。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行って下さい。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。

工程	材料	調合 (重量)	所要量	塗布面積	施工用具	塗回数	間隔時間 (23℃)	可使用時間 (23℃)	
1.事前診断	新築～10年程度で劣化やチョーキングが軽度の基材に施工して下さい。劣化の程度によっては付着不良、白化、ムラとなる可能性がありますので施工に適さないチョーキング面等には絶対に施工しないで下さい。判断のつかない場合はテスト施工を実施した上で基材の吸込みや付着性を確認して下さい。								
2.素地調整	①素地に付着しているコケ・ゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いて下さい。②軽微なチョーキングや汚れはワイヤーブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して、均一な状態にして下さい。③チョーキングが多い面には施工できません。④下地の裏面に微細なヒビ割れが生じている場合は本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥シーリング面に塗装する場合は変色・汚染等が生じる事がありますので、シーリング材は後打ちを基本として下さい。シーリング材を新規に打設しない場合は、シーリング材面を養生して下さい。⑦吹付面周辺は汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全に養生して下さい。								
3.下塗り	クリヤベースハイパー [水性タイプ]	主 剤 硬化剤	14kg 1kg	0.10～0.15 (kg/m <sup>2</sup> /回)	100～150 (m <sup>2</sup> /セット/回)	刷毛 中毛ローラー エアレス	1回	上塗り水性 4時間以上 7日以内	6時間以内
	清水	0～6%	上塗り油性 16時間以上 7日以内						
4.上塗り	ウルトラクリヤー、クリスタルコート、タテイル美館、タテイル美館アクア、タテイルα美館(弾性)、他 ※各製品の仕様書に準じて上塗りを2回施工して下さい。					2回			

## ●クリヤベースハイパー [水性タイプ]

(2液水性形意匠サイディング用高付着プライマー)

### ■荷姿

15kgセット 主 剤: 14kg  
硬化剤: 1kg

### ■色

・透明

### ■適用基材

・窯業系サイディング全般 ・無機系、光触媒サイディング ・金属サイディング

## 注意事項

- ・クリヤベースハイパー[水性タイプ]は、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・クリヤベースハイパー[水性タイプ]は初期攪拌では硬化剤がなじみにくいため、調合する際は必ず電動攪拌機を使い十分に攪拌して下さい。  
また、調合後は30分程度静置させて下さい。攪拌、静置が不十分だとハジキや付着不良の原因となる場合があります。
- ・クリヤベースハイパー[水性タイプ]の塗布後、各種上塗材(クリヤー製品)は必ず2回塗りしてください(全3工程)。
- ・素焼きのような多孔質のタイルやレンガタイルには施工を避けて下さい。
- ・クリヤベースハイパー[水性タイプ]を上塗材として使用することは避けて下さい。
- ・上塗材に艶調整品を施工する場合は塗り継ぎや塗り重ねのムラに注意して下さい。
- ・上記の記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- ・混合後の可使用時間を厳守し、可使用時間以内に使用できないと予想される場合、必要に応じて小分けしてご使用下さい。
- ・チョーキングが目立つ下地には塗装しないで下さい。仕上がりにムラが発生し、塗装後に剥離等の原因となる恐れがあります。
- ・シーリング面に塗装する場合は、変色、汚染等が生じることがありますので、シーリング材は後打ちを基本として下さい。
- ・弱溶剤形の上塗材は取扱いの際は火気に注意し、消防法および労働安全衛生法を厳守して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が濡れている場合には、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚す原因があります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合・常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けて下さい。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・直射日光を避け、通風のよいところで保管して下さい。また施錠し、子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・材料は出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用して下さい。
- ・塗装後は手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中、塗装後は充分換気を行ってください。
- ・眼に入った場合には直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに大量の水及び石鹸で十分に洗い落とし、外観に変化が見られたり、刺激、痛みがある場合は医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い、蒸気を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息して下さい。症状が改善されない場合は、医師の診断を受けて下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を遵守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路、河川、下水、土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・ご使用の際は容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。詳細な内容は安全データシート(SDS)をご確認ください。



工程	材料	調合 (重量)	所要量	塗布面積	施工用具	塗回数	間隔時間 (23℃)	可使時間 (23℃)	
1.事前診断	新築～10年程度で劣化やチョーキングが軽度の基材に施工して下さい。劣化の程度によっては付着不良、白化、ムラとなる可能性がありますので施工に適さないチョーキング面等には絶対に施工しないで下さい。判断のつかない場合はテスト施工を実施した上で基材の吸込みや付着性を確認して下さい。								
2.素地調整	①素地に付着しているコケ・ゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いて下さい。②軽微なチョーキングや汚れはワイヤーブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して、均一な状態にして下さい。③チョーキングが多い面には施工できません。④下地の裏面に微細なヒビ割れが生じている場合は本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥シーリング面に塗装する場合は変色・汚染等が生じる事がありますので、シーリング材は後打ちを基本として下さい。シーリング材を新規に打設しない場合は、シーリング材面を養生して下さい。⑦吹付面周辺は汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全に養生して下さい。								
3.下塗り	クリヤベースハイパー [油性タイプ] PXシンナー	主剤 硬化剤	14.0kg 4.0kg 0～3%	0.12～0.14 (kg/m <sup>2</sup> /回)	128～150 (m <sup>2</sup> /セット/回)	刷毛 中毛ローラー エアレス	1回	4時間以上 7日以内	4時間以内
4.上塗り	グラスステージクリスタルコート、タテイル美館、タテイル美館アクア、ウルトラクリヤー、タテイルα美館プレミアムエディション、タテイルα美館弾性プレミアムエディション、他 ※各製品の仕様書に準じて施工して下さい。					1回			

## ●クリヤベースハイパー [油性タイプ]

(2液弱溶剤形意匠サイディング用高付着プライマー)

### ■荷姿

18kgセット  
主剤: 14.0kg  
硬化剤: 4.0kg

### ■適用基材

・光触媒サイディング ・無機系サイディング  
・焼付金属サイディング ・意匠サイディング全般



## 注意事項

- ・素焼きのような多孔質のタイルやレンガタイルには施工を避けて下さい。
- ・クリヤベースハイパー[油性タイプ]を上塗材として使用することは避けて下さい。
- ・上塗材に艶調整品を施工する場合は塗り継ぎや塗り重ねのムラに注意して下さい。
- ・上記の記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- ・製品は2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・混合後の可使時間を厳守し、可使時間以内に使用できないと予想される場合、必要に応じて小分けしてご使用下さい。
- ・チョーキングが目立つ下地には塗装しないで下さい。仕上がりにムラが発生し、塗装後に剥離等の原因となる恐れがあります。
- ・シーリング面に塗装する場合は、変色、汚染等が生じることがありますので、シーリング材は後打ちを基本として下さい。
- ・弱溶剤形製品は取扱いの際は火気に注意し、消防法および労働安全衛生法を厳守して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が濡れている場合には、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚す原因になる事があります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合・常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けて下さい。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・直射日光を避け、通風のよいところで保管して下さい。また施錠し、子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・材料は出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用して下さい。
- ・塗装後は手洗い及びうがいを充分に行って下さい。
- ・塗装中、塗装後は充分換気を行って下さい。
- ・眼に入った場合には直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに大量の水及び石鹸で十分に洗い落とし、外観に変化が見られたり、刺激、痛みがある場合は医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い、蒸気を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息して下さい。症状が改善されない場合は、医師の診断を受けて下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を遵守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路、河川、下水、土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・ご使用の際は容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。詳細な内容は安全データシート(SDS)をご確認下さい。

# 標準施工仕様書

製品名	クラロックシーラー
種 別	1液強溶剤形クラック抑制シーラー
荷 姿	1.0 kg
用 途	シーリング上部
適用基材	ポリウレタン系シーリング、変成シリコン系シーリング

工程	材料・調合	調合	所要量	施工器具	塗回数	間隔時間 (23℃)	可使時間 (23℃)
素地調整	・シーリング材メーカーの仕様書と養生期間を守って施工してください。						
クラック 抑止処理	クラロックシーラー  無希釈	1.0kg	適量	目地刷毛	1	4時間以上 16時間以内	開封より 6時間以内
塗装	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塗装工程に入る際は、必ずクラロックシーラーを塗布した当日中に下塗材を施工して下さい。</li> <li>・上塗材は各標準施工仕様準じて施工して下さい。</li> </ul>						

## 注 意 事 項

- ・クラロックシーラー塗布後は必ず当日中に下塗材を施工して下さい。
- ・炎天下で施工すると硬化が早く、下塗材が層間剥離を起こす可能性があります。
- ・クラロックシーラーは強溶剤製品ですので脆弱な塗膜に付着しないようご注意ください。
- ・クラロックシーラーはシーリング上部への下地専用シーラーです。屋根や外壁への施工は避けて下さい。
- ・クラロックシーラーは開封後1缶使い切りとなります。
- ・シリコン系シーリングへの施工は避けて下さい。
- ・塗ムラ・かすれ・塗り忘れが無いように、しっかりと塗装して下さい。
- ・強溶剤形製品は取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合、常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けて下さい。
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護眼鏡・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・眼に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。また、詳細な内容は安全データシート(SDS)をご確認ください。